

# かみすげたささのおか

令和3年6月30日  
上菅田笹の丘小学校  
学校だより7月号

みんなで  
東京2020  
オリンピック・  
パラリンピックを  
応援しよう。



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標  
自分大好き 仲間大好き  
心かがやく上菅田笹の丘小学校



## 「情けは人のためならず」

校長 世古 正樹

入梅とともに梅雨空となり、毎日、蒸し暑い日が続いています。そんな中でも、子どもたちはいつも元気に「校長先生、おはようございます。」「こんにちは。」と挨拶をしてくれて、子どもたちに会うたびに元気をもらっています。

さて、先日の朝会で「情けは人のためならずという言葉の意味を知っていますか？」という話をしました。「自分は長い間、その言葉は、『人に情けをかけること、すなわち、人に優しくすることはその人のためにならない。甘やかしてはいけない。』という意味だと思っていました。でも、本当の意味は『人に優しくしていると、巡り巡ってその優しさが自分に返ってくる。』という意味でした。友達に優しく接すれば、友達から優しさが返ってきます。だから、自分がしてもらおうと嬉しいことを友達にもして欲しいです。」と子どもたちに話しました。さらに、「先日、地域の方から、『家の前の道を掃除していると、下校中の女の子が、お掃除ご苦労さまです、と声をかけてくれました。その気遣いがうれしくて、感動しました。』というメールをいただきました。このように人への優しさは巡り巡って自分に返ってきます。これからも、感謝の気持ちをこめて、登下校中に見守りをしてくださっている方々に挨拶をしてください。」という話もしました。

この話をして、30年くらい前に話題となった「アメリカインディアンの教え」という本を思い出しました。その本には、教育や子育てについての詩が書かれていました。いくつかご紹介します。

子どもたちは、こうして生き方を学びます  
批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします  
ひやかしを受けて育った子は、はにかみ屋になります  
ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります  
励ましを受けて育った子は、自信をもちます  
人に認めてもらえる中で育った子は、自分を大事にします

当時、まだ初任校に勤務していた自分は、この言葉がとても深く心に残り、この言葉を意識して子どもたちに接し、懇談会でも保護者の方々にこの言葉を紹介して共有していました。教師も保護者も含め、社会の大人は、子どもたちの鑑です。子どもたちにとって悪い見本にならないように、自分自身の普段の言動に気をつけなければならぬと、改めて思いました。

保護者の皆様、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策も含め、4月から学校へご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。7月21日(水)から8月26日(木)まで夏季休業となります。今年度はいつものように、37日間の長期休業です。子どもたちがこの夏にしか経験できないたくさんのお話を学んで、8月27日に元気に登校してくることを、心から願っています。